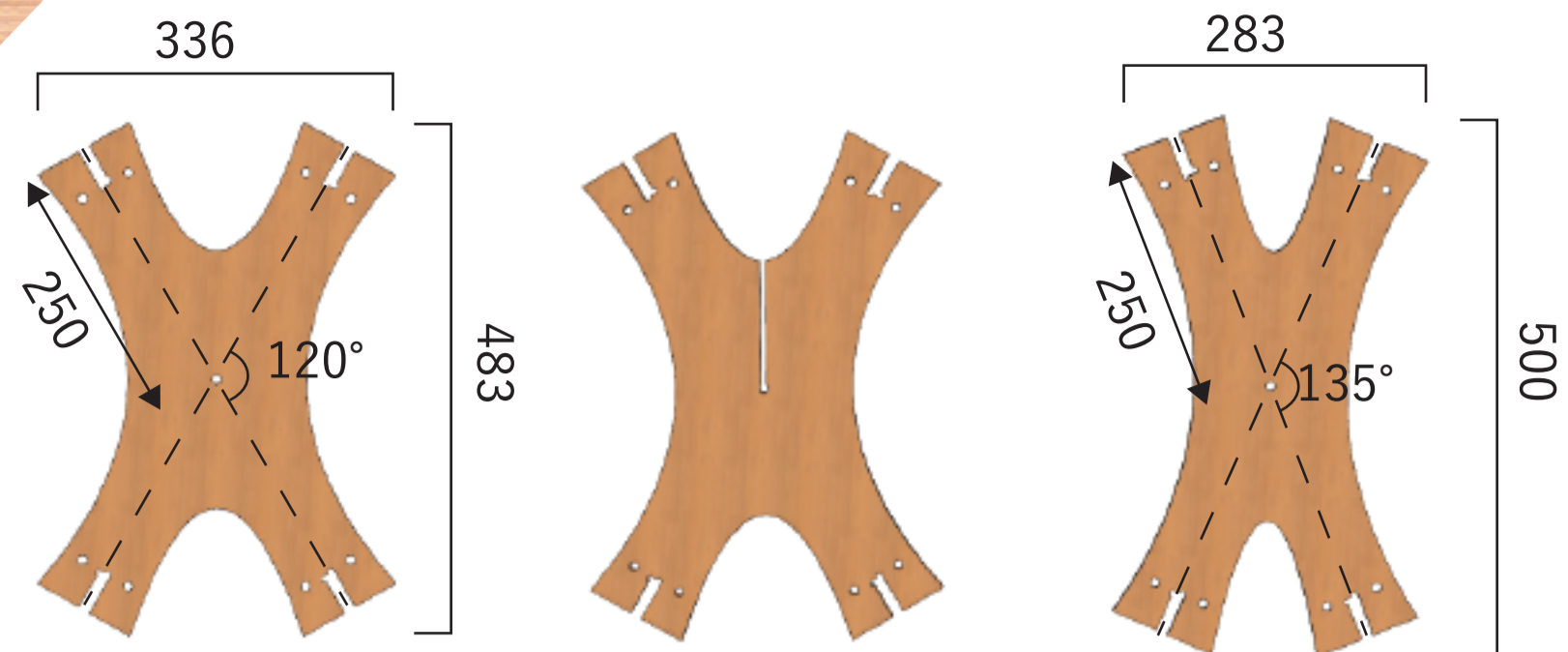


Potential of

Xモジュールは造形の自由度が高いが、
X型の角度、辺の長さからなる
プロポーションによって、
構成できる空間が
大きく異なる。

Xモジュール

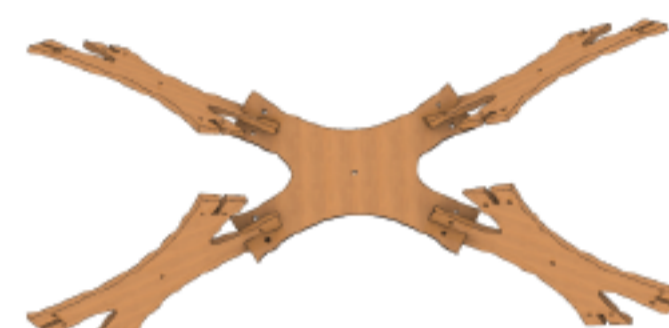


試行の末、1つの内角が120°、135°となるモジュールの組み合わせに決定した。

基本ルール



使用しない辺が出る向きを揃える

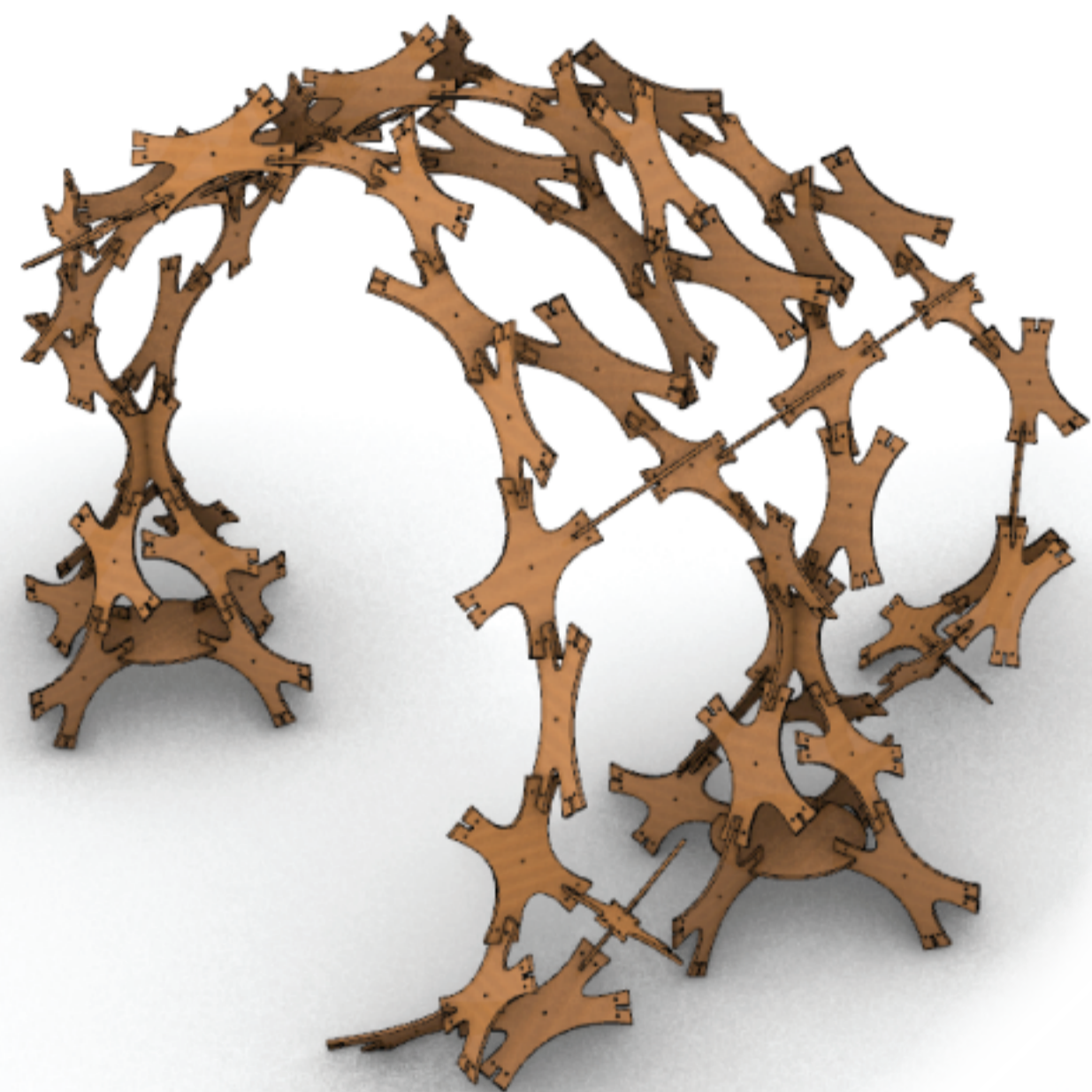


それぞれの辺は直角に接合する

基本ルールに従ってモジュールを繋いでいく。

このルールから以下に示すいくつかのユニットを作成し、それらの組み合わせから架構を形成する。

全体構成



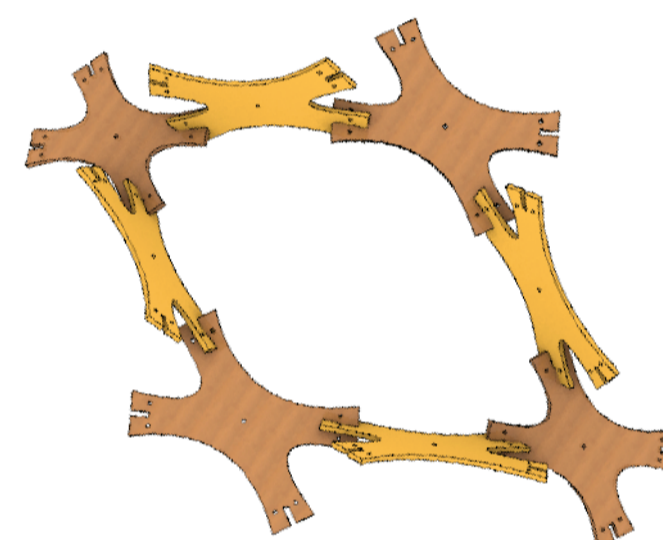
これら3つのユニットの組み合わせで空間を構成する。
その後、曲面を発展し、柱と一体化する。



菱形と三角形でできた曲面を支えるためのユニット。



120°と135°のモジュールを交互に繋ぎ、
平面幾何学が正三角形となるユニットを作る。
三角形は最も安定するユニットである。



120°と135°のモジュールを交互に
繋いで、菱形のユニットを作る。

安全対策



架構を安定させるため
接合部は外れ防止、
モジュール同士はアーチ
形状を維持するために
紐を用いて
固定する。

モジュールの可能性



Xモジュールからできる空間の構成
は無限にある。
また、解体後Xモジュールは
コンパクトにまとめられ、
運びやすく仮設構造物
としての可能性を
秘めている。

